

うにされているのか。地域げんき課との連携で総合的に進めるのか。

④教育問題について

(イ)公立幼稚園の認定ことも園化と民営化は、大村市の就学前の子どもたちの育成を全体的にとらえてのものなのか。経済面だけ考えてのことなのか。

(ロ)特別支援教育を必要とする新1年生の人数を把握されていれば知らせてほしい。また、その子どもたちへの補助等手だてはどのように考えられているのか。

(2)地縁団体について

良好な状態にはないと言われる横山頭地縁団体町内会にまず総会を開くよう市は要請すべき。

市長 (1)①新年度早々に市民参画の懇話会を立ち上げ、多くの市民の意見を聞きながら、新幹線を生かしたまちづくりについての基本方針を策定していきたいと考えている。

②着工により具体的にどうなるのかを十分広報し、ガラス張りにして理解していただくよう努力したい。

商工観光部長 ③大村の観光シンボルとして実施した。行政評価の結果は、事業効果を十分検証し、効率的、効果的な見直しを行うこととなっている。

市民生活部長 昨年はゆかりのある市町に参加協力をいただいた。今後も他市町にも参加の呼びかけを行いたい。

教育長 ④(イ)幼児教育と保育を一体的に行うことで、これまで以上に幼児教育が充実されると考えている。就園奨励費補助の制度等を活用し、保護者の負担が少なくなる方策を検討したい。

(ロ)入学する子どもが約1千人いるうちの約50人が配慮を要すると認識している。補助員については20年度21名を配置できるよう準備中である。また再任用制度もあり、学校の実態をみながら支援について県教委の指導も受けて進めていきたい。

市長 (2)総会を開催していただけるよう働きかけていきたい。

「地域伝統芸能大賞受賞」

大村市黒丸踊を

「国選択から「国指定」へ

前川議員

(1)歴史観光について

大村市黒丸踊が平成20年度地域伝統芸能大賞「保存継承賞」に選定された。全国424団体に選定された。全国424団体に候補中、県内で初めての受賞、国内外での実演活動、後継者育成が高評価され、10月にさいたま市で表彰式と記念公演がある。他の4部門の表彰のいずれも一

「国指定」であり、約530年の伝統を持つ黒丸踊のみ国選択である。この際「国指定」の申請はできないものか。

(2)水資源対策について

①郡川の改修計画(ミニダム計画等)について、本市の水神話、水の需要増大などによりダムがピンチである。郡川の雨季流下水を一時ミニダム(転倒ダム)化計画は。

②雨水貯留浸透マス設置計画について、地下水保全の手段として新築許可時点での対応はどうか。

市長 (1)歴史観光を目指している本市にとって、黒丸踊は大村の



黒丸踊

中心的な伝統芸能として十分に生かせるものと考えている。今回の受賞を契機に黒丸踊を国の無形民俗文化財に、「選択」から「国指定」へ県に対して積極的に働きかけていきたい。

(2)①一時的に貯水を可能とするミニダムの計画については、新たな水利権が発生することから、既得水利権者との調整が大きな課題である。水事情が厳しい中、今後関係者ともども県と十二分に協議をしていきたい。

②住宅等を新築する際の雨水貯留浸透マスの設置については、地下水の涵養機能の保全を向上させるものであり、水資源の有効利用に効果があると考えられている。しかし、本市においては、雨水が浸透しにくい土質やがけ地等設置に適さない地域もある。また設置を義務付けることについて市民の理解が得られるのかも一つの課題である。

今後、新たに設置する水資源対策室を中心に、雨水貯留浸透マス設置の検討も含め、総合的に水資源の保全と利活用に取り組んでいきたい。

(その他の質問事項)

・都市計画道路池田沖田線の進捗
・市道宮小路1丁目3号線の進捗
・郡地区公民館の利用状況について